

聖霊降臨節第1主日・ペンテコステ礼拝

説教要旨(5月24日) 早川 真牧師

『主の霊によって』使徒言行録 2:1-13

神はイエス・キリストの十字架の死と復活を通して信じる者を罪と死から解放し、その50日後に聖霊を与えられました。聖霊は、救いの初穂と呼ばれ、イエス・キリストを神と信じる者に一番初めに与えられる賜物です。聖霊は天の父なる神と御子イエス・キリストと共に神であって、人々の内に働き、その人の心を新しくします。

今朝の個所の後に、ペトロが十一人の弟子と共に立って説教をする場面がありますがその時のペトロや弟子たちの心は全く変えられていました。恐れに支配されていたところから、大胆に、勇気をもって語る者へと変えられていました。これこそが人の心を新しくする聖霊の働きです。

たとえ今は荒れ野のような状態であったとしても、やがて神は必ず、砂漠に大河を流すように驚くべき御業を行ってくださいます。それは私達の力や思いや計画によるものではありません。神の力、神の思い、神の計画によります。そしてそれを成し遂げるのは聖霊の力です。

私達はそれぞれに自分の力、自分の思い、自分の計画があります。ここだけは譲れない、そのようなものがあります。そしてそれゆえに一つになることが出来ません。しかし聖霊はそんな私たちが一つになるために天から降り、今も働いておられます。たとえ恐れや不安や様々な自らの思いに捕らわれていたとしても、聖霊が力強く働く時、内側から新しく変えられると今朝の個所は伝えていきます。

今年度私たちは、共に集い礼拝をささげらる中で、主の霊によって、朝ごとに新しくされて栄光に輝く偉大な主の御業を共に見させて頂き、また証ししていきたいと思っております。